

小樽市 地区別景観形成指針

この指針は、建築物や広告物を設計する際などの、景観形成のための指針です。

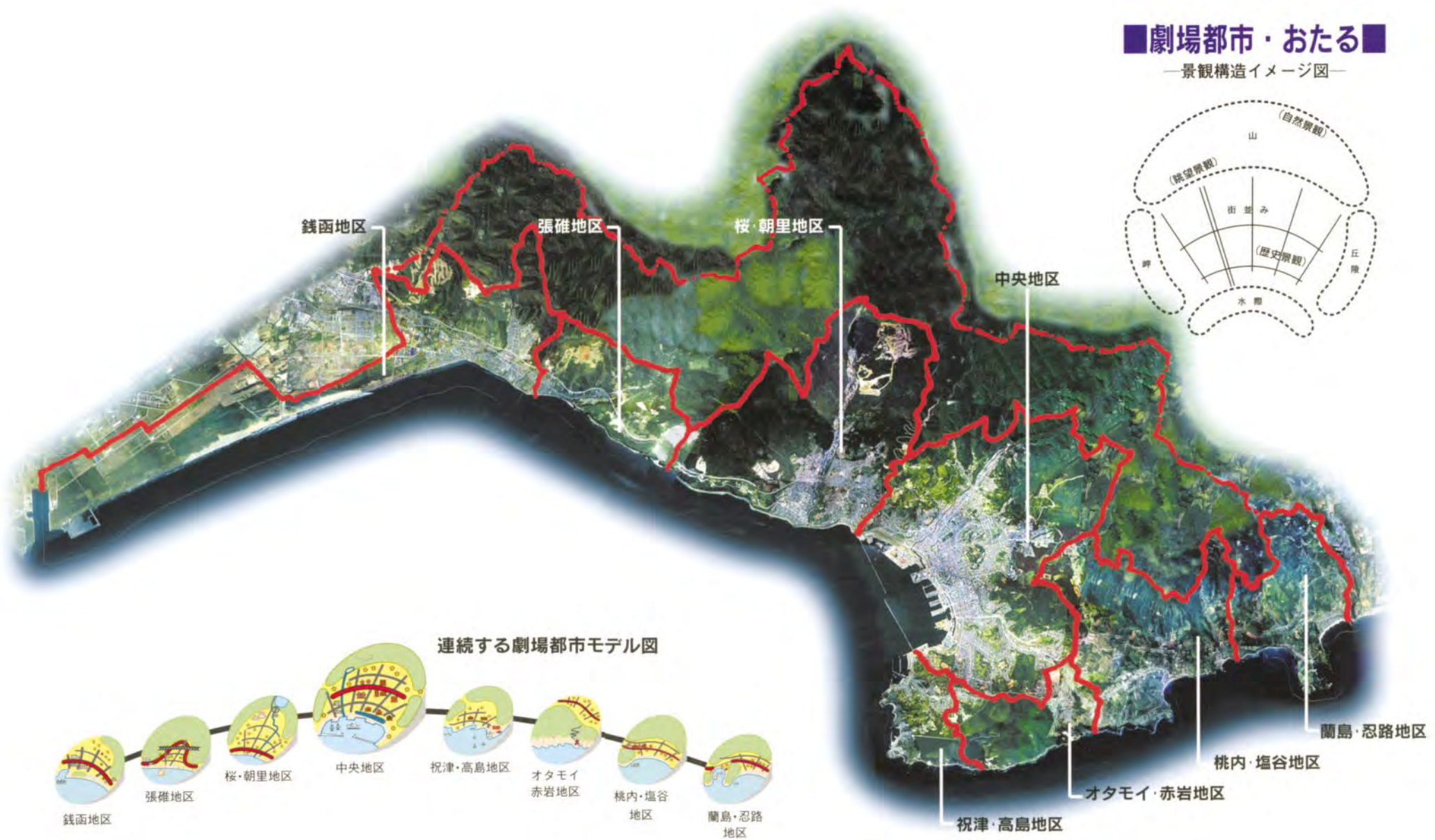
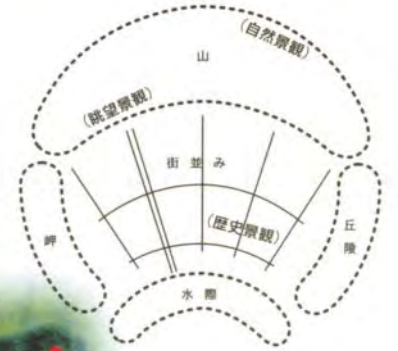
単体デザインと地区別デザインの二つの要素からなっており、特に各地区の景観特性を写真や図などから読み取れるように工夫されています。

周辺の地形や家並み、そして歴史などにも気を配った施設づくりが景観形成には不可欠です。それぞれの地区特性を生かした、快適で魅力ある街並み景観を創出しましょう。

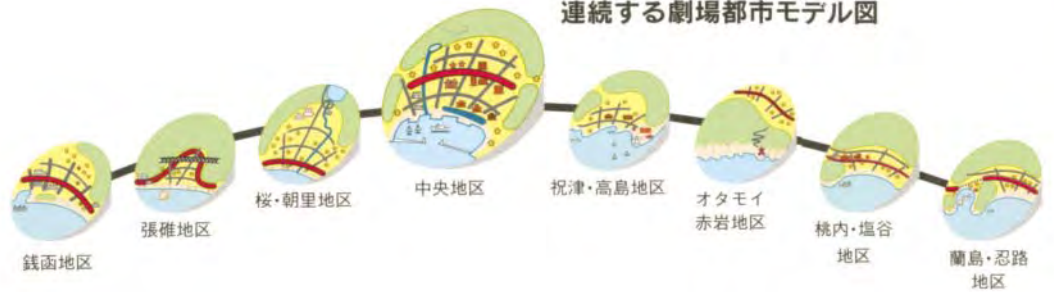


■ 劇場都市・おたる ■

— 景観構造イメージ図 —



連続する劇場都市モデル図



景 観 条 例

景観条例を制定し、街並みの 景観づくりをすすめています

小樽市では、昭和58（1983）年に「小樽市歴史的建造物及び景観地区保全条例」を制定し、歴史的な街並みの保全を図ってきました。

全市内を対象にした「小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例」を平成4（1992）年に制定（保全条例は廃止）し、歴史的街並みの保全に加え、新築建物の景観形成や緑化の推進を図ってきました。

平成5（1993）年には「小樽市都市景観形成基本計画」を策定しました。

小樽の景観要素の中では、海・山・坂などの「自然景観」、丘陵部や山頂からの「眺望景観」、そして運河や歴史的建造物などの「歴史景観」が特性となっています。

普段、通りや坂を歩くときも、起伏のある地形や個性的な街角の景色がずっと変わっていくシーケ

ンスが楽しめます。さらに、歴史的な地区のみでなく、まち全体に味わいのあるヒューマンスケールの街並みがあり、それらは、眺望や自然と一体的に融合して独特の景観となっています。

景観基本計画では、景観形成をすすめるうえで、地形的な景観特性を、分かりやすく表現するために、都市形態のイメージを「劇場都市・おたる」と位置付けています。

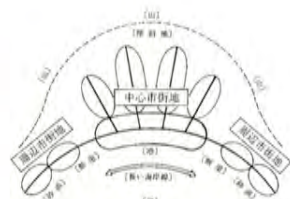
湾曲した港湾や放射状に広がる斜面の市街地が、古代ギリシアなどの野外劇場を連想させることから、私たち市民がまちづくりのドラマを演じる劇場に見立てています。また、それぞれの景観特性を持つ周辺地区も小劇場がたつらなる形を、都市形態のイメージとしています。



小樽市街



古代の野外劇場の遺跡



都市形態のイメージ図

地区別景観形成指針

建物などを設計する際の指針 として地区別景観形成指針を 策定しました

景観条例第10条に基づき、具体的な指針として、「地区別景観形成指針」を策定しました。

市内各地区の特性や建築物等のデザイン方針を示すことによって、設計または維持の際に、市民・事業者・設計者の方などに景観形成の共通理解の指標として用いていただき、景観への配慮や具体的な設計への工夫などを促します。また、公共・民間ともに、景観形成のための手引書として使用します。

この指針は「単体デザイン」 と「地区別デザイン」から構成 しています

建築物や広告物などは、街並みを構成する重要な要素で、それらの集積が、その街の美しさや生活するうえでの快適さにつながっています。そのため、建築物などを造る場合、機能性や経済性を満たす他に、質の高いデザインが求められます。

良好な街並みの景観を創出するためには、単体としてのデザインを創意工夫するとともに、周辺の街並みやその土地の風土なども考慮した地域特性を生かした設計が必要です。

◆単体デザイン（各地区共通の単体についての景観形成指針）◆

どの地区にも共通で景観形成 上考慮が必要な事項を示して います

「敷地・道路等」「建築物」「工作物・広告物」「大規模建築物等」に分類し、敷地内の修景、建物配置、屋根や開口部の形態などを単体についてのデザイン指針として示しています。

◆地区別デザイン（各地区ごとの景観形成指針）◆

景観八区

市内を八地区に分類しています

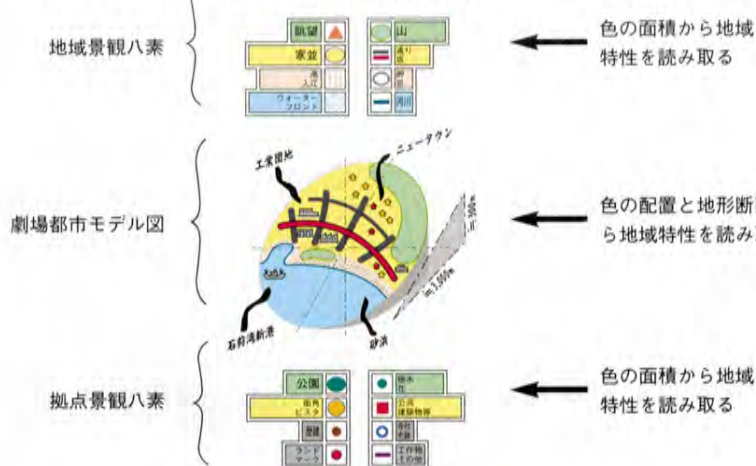
- ◇銭函地区（桂岡、見晴、銭函、星野） ◇張碓地区（張碓、春香）
- ◇桜・朝里地区（桜、船浜、望洋台、朝里、新光、朝里川温泉）
- ◇中央地区（長橋、幸、手宮、清水、末広、錦、梅ヶ枝、豊川、石山、色内、港、堺、山田、東雲、相生、住吉、信香、稲穂、花園、住ノ江、若松、新富、富岡、緑、最上、入船、松ヶ枝、勝納、有幌、築港、若竹、潮見台、真栄、奥沢、天神、天狗山、旭）
- ◇祝津・高島地区（祝津、高島） ◇オタモイ・赤岩地区（オタモイ、赤岩）
- ◇桃内・塩谷地区（桃内、塩谷） ◇蘭島・忍路地区（蘭島、忍路）

小樽市の市街地は、約58kmに及ぶ長い海岸線沿いに展開しており、丘陵などを境に地域の特徴がそれぞれ違ってきます。地形や都市形態上のまとまりを考慮して、市内全域を次の八地区に分けています。

景観八素

地図やグラフで特性を表しています

◆地域特性指標◆



八地区に分類したそれぞれの地域特性をつかむために、景観構成要素を分類し、それらの要素を地域特性指標として表示しています。

「公園」「樹木」「街角」「建物」など、景観の特徴となる点的な要素を「拠点景観八素」としています。その点の連続からなる、「通り」「河川」の線的な要素と、「眺望」「山」「家並」などの点や線が集積した面的な要素を「地域景観八素」としています。

景観八景

現況写真などから特性を読み取ってください

航空写真や現況写真から各地区で大切にすべき景観を読み取ってください。

また、各地区の皆さんとともに、その地区を代表する「景観八景」を選定し、それらの八景を大切にしたいまちづくりをすすめていきます。

本地区別景観形成指針を活用して、建物配置の工夫や地区特性に合わせたデザインをするなど、その地区の街並みに調和した良好な景観を形成し、さらに、地区の新しい八景になりうる施設づくりをすすめてまいりましょう。

～街並みへのかかり方を探る手立て～ 土地の脈絡を読む



単体デザイン：敷地・道路等

◇オープンスペースの確保

歩行者空間にゆとりを与えるため、主要道路の交差点や道路に面してオープンスペースを設ける。

◇敷地内の緑化

街並みに潤いを与えるため、塀を生垣にし、既存の樹木等を活かすとともに新たに植栽するなど、敷地内の緑化をすすめる。

植栽した樹木等の維持管理をし、自然環境の保全・育成を行う。

特に、花は街並みに色どりを加え、美しい景観をつくり出すため、花による演出を行う。

◇屋外駐車場の修景

街並みの連続性を保つため、屋外駐車場は、樹木や石堀など、周辺と調和する方法で道路から目隠しをする。



◇石垣・擁壁の修景

自然景観と調和し、やすらぎのある街並みとするため、石垣に自然石を活用し、擁壁をツタ等で緑化する。

◇道路等の舗装

歩行者空間の景観を良好なものとし、快適性を向上させるため、道路等の舗装の品質を高める。

歴史的な街並みでは、歴史的建造物と調和を図るため、自然石などによる道路等の舗装をすすめる。

◇ロードヒーティング等による消融雪

冬期間の歩行安全性を確保し、冬期間にも魅力ある街並み景観を創出するために、ロードヒーティング等による消融雪をすすめる。

◇電柱等の修景

良好な街並み景観を創出するため無柱化をすすめ、また街並みと調和するように電柱等の修景を図る。

単体デザイン：工作物・広告物

◇工作物の位置等

建築物に付属する工作物は、道路から見えない位置に設置するか目隠しをし、周辺の街並みとの調和を図る。

塀は、生垣や格子状のフェンスとし、通行人が敷地内の植栽を楽しむことができるようにする。

◇工作物の形態等

建築物に付属する工作物は、周辺の街並みとの調和を図るため、建築物と一体となるような形態・色彩とする。

自走式の立体駐車場は、駐車中の車両が見えないように、壁や植栽などで目隠しをし、周辺の街並みと調和したデザインとする。

◇歴史的な街並みの中の広告物の形態

歴史的な街並みの中では、屋上広告物は避けて、街並みと調和した突き出し広告物や箱文字による壁面広告物などとする。

歴史的な街並みの中での壁面広告は、街並みと調和した材質・デザインとし、必要最小限の大きさとする。

◇広告物の形態等

オフィスビル等の広告物は、大きさ・形状・色彩など

をそろえ、さらに集約化するなど乱雑にならないようにし、建築物や街並みとの調和を図る。

◇簡易広告物

地域環境向上のため、旗やのぼりなどの簡易な広告物は控える。

◇広告物の数・色彩

広告物の数は必要最小限とし、周辺の街並みとの調和を図るため、色彩は高彩度・高明度のものは避け、使用する色数も必要最小限とする。

◇屋上広告物の形態等

屋上広告物は、建築物と一体となるような形態・色彩とし、周辺の街並みのスカイラインと調和するよう極端な塔状は避け、安定感のある形態となるよう工夫する。

屋上広告物の文字やマークは、必要最小限の大きさとどめる。



◇独立広告物の形態

周辺の街並みと調和した高さや形態とし、モニュメント風にするなどデザインを工夫する。

工業団地等の独立広告は、高さや大きさ等をそろえ、街並みの調和を図る。

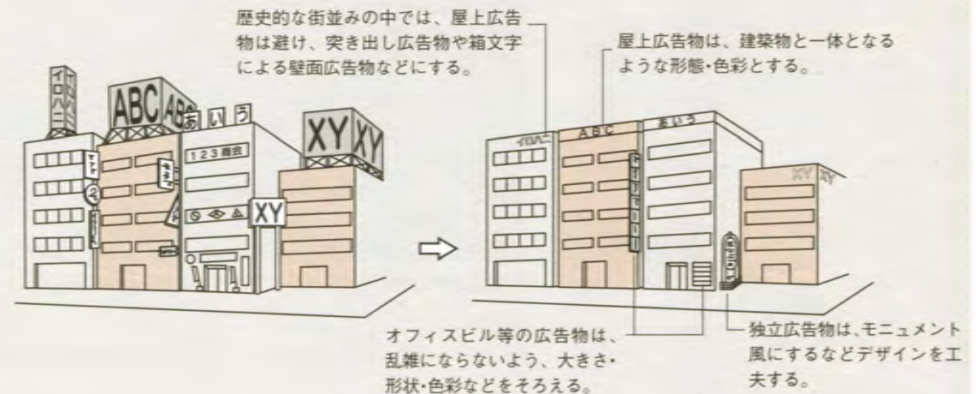
◇広告物の照明

広告物の照明は、過度な発光装置や移動点滅装置などは避け、良好な夜周景観を創出する。

◇自動販売機

自動販売機は、道路から見えない位置に設置するか目隠しをする。

歴史的な街並みの中で、やむを得ず道路に面して設置する場合には、自動販売機の色彩を周辺の街並みと調和させる。



単体デザイン：建築物

◇建築物の高さ

周辺の街並みとスカイラインを合わせるため、周辺の建築物と調和した高さとする。

◇擁壁のある敷地内の建物配置

斜面地で、道路より擁壁越しに仰ぎ見る場合や、下側に建築物が近接する場合は、圧迫感や威圧感のないように、擁壁側の敷地を空けた配置などとする。

◇緑と調和した色彩

基本的には、高彩度の色彩は使用しない。樹木の葉の彩度は6程度以下であることから、背景にある山並みの緑や街路樹とともに見える外壁のベースカラーは、緑との調和を考慮し、彩度を概ね6以下とし、アクセントカラーを効果的に配色するようにする。

◇シャッターの種類と色彩

商業施設では、パイプシャッターなどにしてショウウィンドウが見えるようにし、閉店時にも街並みに賑わいを演出する。また、シャッターは建築物と一体となった色彩とし、特に、石垣や擁壁などに車庫が設置される場合は、それらと調和したものとする。

◇バルコニーなどの形態

バルコニーや手摺りなどは建築物と調和したデザインとし、街並みに潤いを与えるように、道路側に花飾り台などを設ける。また、バルコニーに物干しを設置する場合には、洗濯物などが見えにくいようにする。

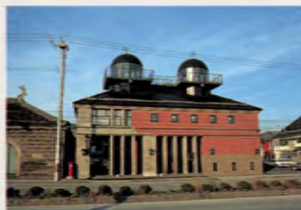
◇歴史的建造物の保全

歴史的建造物の保全を図るとともに、石造倉庫などの再活用の場合は復元に努め、新規の開口設置やデザインを施すことは必要最小限にとどめる。

◇歴史的建造物との調和

歴史的建造物が隣接する場合などは、建築物のデザインを歴史的建造物と調和したものとする。その場合、特に外壁にミラー状の熱線反射ガラスや、光沢のあるパネル材などの使用は控える。

軟石積みなどをデザインモチーフとする場合は、材料選定や開口部の形態・配置などを、様式や工法に合ったものとし、塗装やモルタルなどで目地を付ける場合の目地割り、また屋根の葺き方や窓枠のデザインなどにも工夫を凝らす。



単体デザイン：大規模建築物等

◇公開空地などの確保

歩行者空間にゆとりを与えるため、主要道路の交差点部や道路に面して公開空地などのオープンスペースを設け、高品質の舗装や植栽などにより修景を行い、さらに、ストリートファニチャーを設置するなどして快適な空間を演出する。

◇大きな壁面を持つ建築物の配置

大きな壁面を持つ建築物は、周辺の眺望に配慮した配置とする。

◇建築物の高さ

低層の建築物が並ぶ街並みに建つ大規模な建築物は、街並みの調和を保つため、道路に面する部分は街並みに合わせた高さにして高層部分はセットバックさせるなど、周辺と調和した高さとする。

また、低層建築物が隣接する場合は、周辺の居住環境などに配慮して、敷地境界から段階的にセットバックさせるなどする。

◇高層建築物のデザイン

高層建築物は、周辺の街並みとのボリューム感を調和させるため、壁面を分節化し、無開口の壁面をつくらないよう開口部の配置なども工夫をする。

◇歴史的建造物との調和

歴史的建造物が隣接する場合などは、建築物のデザインを歴史的建造物と調和させる。

◇外壁の色彩

大きな壁面を持つ建築物は、周辺の景観への影響を少なくするため、外壁のベースカラーを低彩度の色彩とする。また、壁面が単調にならないように、色彩計画により、アクセントカラーを効果的に配置する。

◇大規模な工作物の形態等

高層の立体駐車場は、単調な壁面にならないよう、材料や色彩等で工夫をし、周辺の街並みと調和したデザインとし、壁面などへの大きな表示は避け、突き出し看板などで出入口を効果的に表示する。

タンク・プラント・塔などは、周辺の自然景観や街並みと調和するようなデザインとする。

◇大規模な広告物の形態

大規模な広告物は、その設置目的や視認範囲などを考慮し、必要最小限の大きさとする。また、建築物との調和を図り、建築物と一体となるような形態とする。

◇大規模な広告物の色彩

周辺の街並みへの影響を考慮し、高彩度・高明度の色彩は避け、使用する色数も必要最小限とする。

◇工事用仮設物の修景

歩行者空間の快適性を向上させるため、仮囲いなどを周辺と調和した色彩とするなど、工事用仮設物の修景を図る。





銭函の市街地と海岸線



新築分譲 個性別邸



銭函駅



石狩湾新港



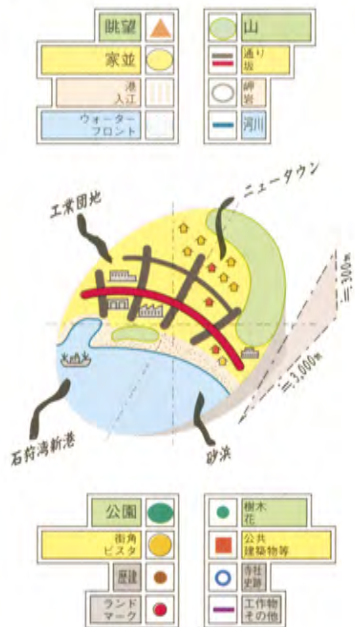
ハイソックの唐草と砂浜



十ヶ坊球技

銭函地区

◆ 地域特性指標 ◆



地区別デザイン

- ◇住宅地では、地域環境向上のため、前面道路側に積極的に花壇を設け、塀を設ける場合は、生垣とするか、通りから植栽が見えるようなフェンスなどとする。
- ◇工業地域では、業務地としての環境向上を図るため、工場立地法、開発指導要綱及び景観条例（運用指針）などの緑化率に基づくとともに、高木に

- よる敷地内の緑の演出をする。また、広告物は案内サインとしても効果的に機能させるために、乱雑な配置は避け、必要最小限の数・大きさとし、近隣との統一性を考慮し、かつ、移動点滅装置や高彩度の色彩は使用しない。
- ◇国道5号線周辺の大規模建築物は、大きな壁面が、山側からの眺望を遮らないような配置計画とする。

景観特性図



凡例は左の地域特性指標を参照

銭函地区



地区概況

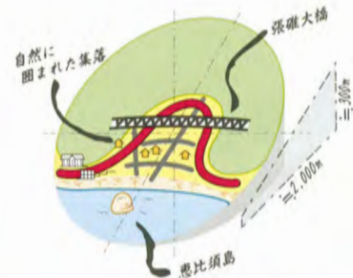
札幌市に近接し、平坦地に富み、工業地・住宅地として建築物が増加している。国道5号線より山側及び桂岡方面は斜面地に市街地が並び、そこからは石狩湾新港までの約10kmにわたる海岸線の砂浜が俯瞰できる。また、薬科大学、公営住宅などが、低層の街並みのなかでランドマークとなっている。



張碓地区

◆ 地域特性指標 ◆

眺望	▲	山	○
家並	●	通り	—
港	□	入江	□
ウォーター	□	河川	—
フロント	□		



公園	●	樹木	●
街角	●	花	●
ビスタ	●	公共	■
歴建	●	建築物等	■
ランド	●	寺社	○
マーク	●	史跡	○
		工作物	—
		その他	—

地区別デザイン

- ◇地区の魅力を生かすため、植栽による修景を図るとともに、大きな壁面を有する建築物などは、屋根形状や壁面のデザインに変化をつけるなどして、周辺の自然景観と調和させる。
- ◇建築物、工作物等の外観は、周辺の樹木などとの調和を図るため、木・石など素材感のある材料を用い、塗装面の色彩はベースカラーを低彩

- 度にする。
- ◇広告物のデザインは、自然環境と調和するものとし、高彩度の色彩のものや過度な発光装置等を有するものは避け、自然素材を多用するなど、リゾートの雰囲気損なわないものとする。

景観特性図



凡例は左の地域特性指標を参照

張碓地区



地区概況

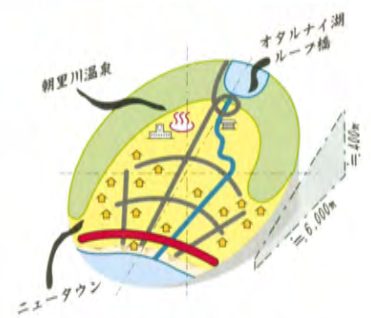
断崖の海岸線と、三方を山に囲まれた沢に集落が形成され、市の鳥のアオバトが恵比須島に飛来することでも知られ、自然景観が大きな特徴である。上空を横断する張碓大橋がランドマークとなっている。断崖から海岸線や海を俯瞰できることなどから、住宅地にもホテルなどのリゾート系の施設が建築され始めている。



桜・朝里地区

◆ 地域特性指標 ◆

眺望	▲	山	○
家並	●	通り	■
港	□	湖	○
入江	□	河川	—
ウォーターフロント	□		



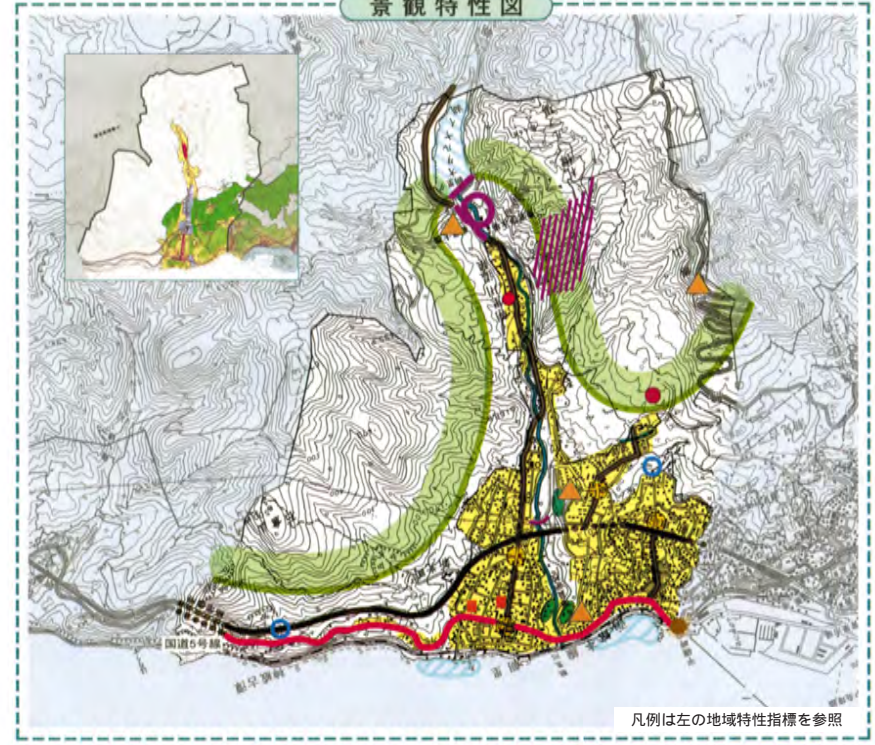
公園	●	樹木	●
街角	●	花	●
ビスタ	●	公共	■
歴建	●	建築物	■
ランド	●	寺社	○
マーク	●	史跡	○
		工作物	—
		その他	—

地区別デザイン

- ◇住宅地としての良好な街並み景観を創出するため、近隣との調和を図るとともに、植栽などの工夫をする。
- ◇大規模建築物は、周辺環境との調和を図るため、圧迫感のないようセットバックなどとする。
- ◇工業系の施設は、丘陵地の住宅地側からの眺望を意識し、資材置場と施設の配置関係や、威圧

感のないデザインとし、地域と調和した景観を創出させる。
 ◇広告物は、山並みと海を遠景にして広がる良好な住宅地景観を考慮して、必要最小限の大きさとし、高彩度の色彩は避け、過度な移動点滅装置は設置しない。

景観特性図



桜・朝里地区



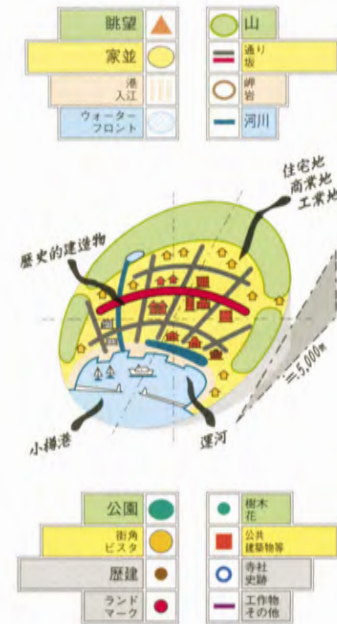
地区概況

早くから土地区画整理事業により、良好な住宅地として開発され、近年、望洋パークタウンの大規模造成などにより、朝里川を挟む丘陵沿いに住宅地が広がっている。また、朝里川温泉、スキー場、朝里ダム、海水浴場などにより、レクリエーション・リゾート地として整備が進み、郊外型の商業地としても発展している。



中央地区

◆ 地域特性指標 ◆

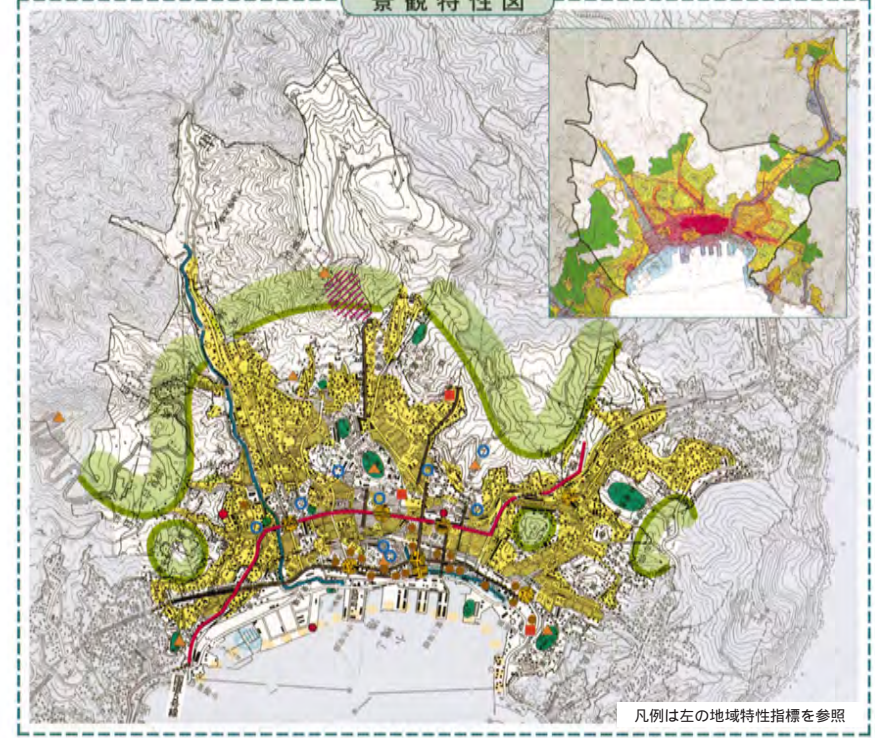


地区別デザイン

- ◇ 運河周辺などでは、歴史的街並みと調和した品格のある落ち着いた街並み景観を創出するため、歴史的建造物等の保全をすすめる石やタイルなどの素材感のある外装材を用い、ベースカラーをグレイッシュな色彩とする。
- ◇ 大規模建築物は周辺へ圧迫感をもたらさないよう、周辺と調和したデザインとし、地形に合っ

- た魅力ある街並み景観を創出する。
- ◇ 坂道などからの眺望を意識し、屋根は周辺と調和したデザインとし、また、石垣の保全に努め、コンクリート擁壁などはツタや花などにより、緑化を推進する。
- ◇ 広告物は必要最小限の大きさとし、住宅地の周辺には過度な移動点滅装置を有するものは設置しない。

景観特性図



中央地区



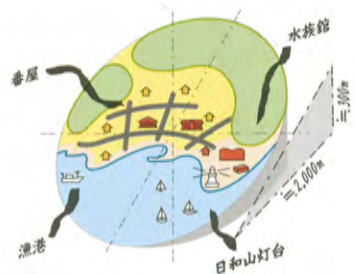
地区概況

劇場都市をイメージさせる、湾曲した港湾と放射状にのびる市街地に、人口・産業の集積がすすみ、都心部として発展している。市街地に突き出た丘陵や山側の住宅地からは、小樽港と中心市街地が眺望でき、小樽の景観を象徴する運河とそれをとりまく歴史的建造物により、新旧調和のとれた街並み形成がすすめられている。

祝津・高島地区



◆ 地域特性指標 ◆

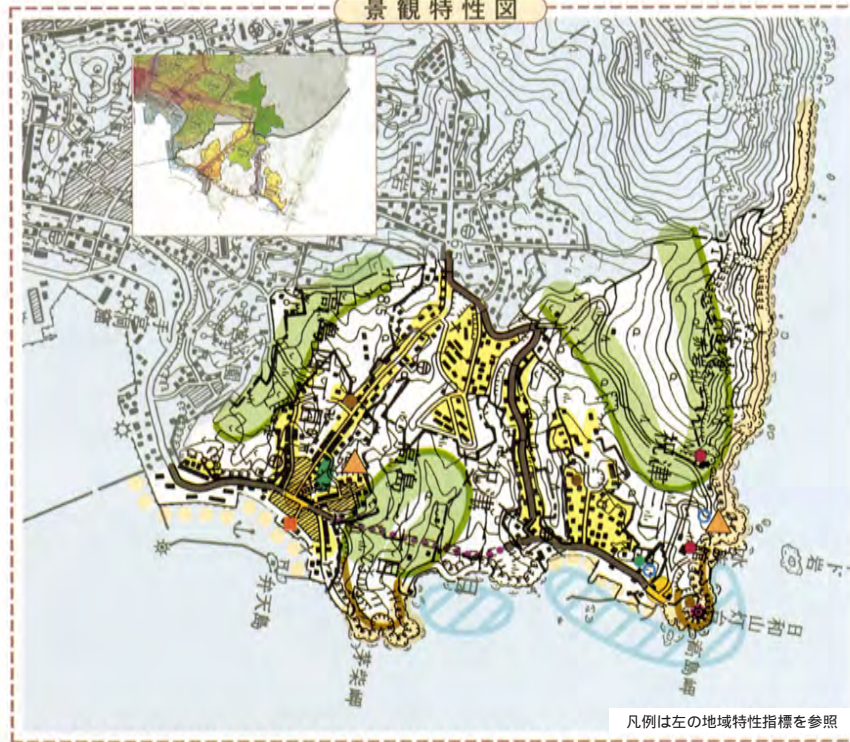


地区別デザイン

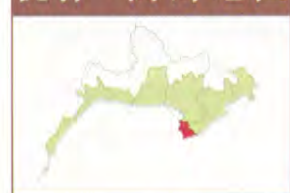
- ◇ 歴史的建造物等の保全をすすめるとともに、高彩度の色彩は避けるなど、それらと調和するようにする。
- ◇ 水産業関連や工業系の施設は、業務地としての清潔感や潤いにも配慮し、駐車場や資材ヤードの区画や舗装の範囲、ならびに住宅地に隣接する場合は前面道路側への植栽方法などについて

- 特にきめ細かい配慮をする。
- ◇ 海岸線沿いの施設は、海からの景観にも配慮し、自然景観と調和するよう、石や木など素材感のある外装材などとする。
- ◇ 広告物は、必要最小限とし、過度な発光装置等を有するものは避け、番屋などの歴史的建造物などと調和したデザインとする。

景観特性図



祝津・高島地区



地区概況

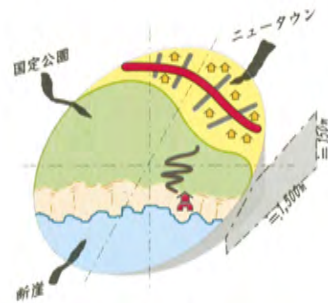
古くから漁業で開け、小樽の主要な水産業基地として栄えてきた。変化に富んだ海岸線沿いには番屋などの歴史的建造物も点在し、高島岬周辺は国定公園内の特定集団施設地域に指定されており、近年祝津マリーナや水族館が整備され、観光・海洋レクリエーションゾーンとなっている。また、大規模な住宅団地も建設されている。

オタモイ・赤岩地区



◆ 地域特性指標 ◆

眺望	▲	山	●
家並	○	通り筋	■
港入江	□	神社	○
ウォーターフロント	□	河川	—



公園	●	樹木花	●
街角ビスタ	○	公共建築物	■
歴建	●	神社史跡	○
ランドマーク	●	工作物その他	—



地区別デザイン

- ◇海岸沿いでは自然景観の保全を念頭におき、デザインは海・山などの自然環境と調和するものとする。
- ◇住宅地では、植栽など緑化を推進し、周辺の自然と調和した良好な街並み形成を図る。
- ◇大規模建築物は前面道路側よりセットバックしたり、屋根や壁面のデザインに変化を付ける

- などし、周辺の低層住宅への圧迫感を軽減させるなどして、良好な住宅地景観を創出する。
- ◇広告物は自然環境を阻害しないよう、必要最小限の大きさとし、高彩度の色彩や過度な発光装置等を有するものは設置しない。

景観特性図



オタモイ・赤岩地区



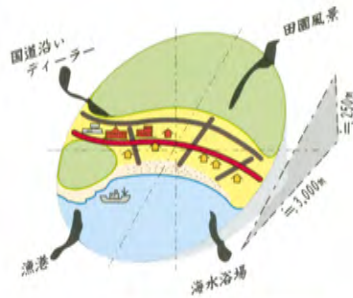
地区概況

赤岩・オタモイ海岸は国定公園に指定されており、奇岩や絶壁など勇壮な海岸線が続き、戦前は料亭や遊園地などがつくられ、行楽地として栄えた。またオタモイから祝津までの自然探勝路、途中の赤岩山からは市街地などが眺望でき、幹線沿いの斜面地は大規模な団地が形成されている。

桃内・塩谷地区



◆ 地域特性指標 ◆



地区別デザイン

- ◇住宅地は近隣との調和のなかにも、植栽などを工夫し、周辺の豊かな自然と調和した街並み形成をすすめる。
- ◇道道小樽環状線及び広域農道（塩谷蘭島山手通線）沿いは、高彩度な色彩は避け、田園的自然景観に調和した屋根形状などとする。
- ◇国道5号線沿いのディーラーや工場について

は、前面道路側よりセットバックさせ、屋外駐車場や資材ヤードなどは、目隠しとして植栽などを行い、良好な街並み景観を創出する。

◇広告物は、乱雑な配置とならないように、周辺との調和を考慮し、過度な移動点滅装置は避け、必要最小限の数・大きさとする。

景観特性図



桃内・塩谷地区



地区概況

道道小樽環状線及び広域農道（塩谷蘭島山手通線）沿いの都市近郊型農業地、塩谷の沿岸漁業地、海水浴場などのある地区として知られ、自然景観豊かな地区である。国道5号線沿いにはディーラーや工場が建ち並び、大型の広告物が連続している。また、この国道の両側の斜面地に公営住宅や一般住宅が建ち並び住宅地が形成されている。

蘭島・忍路地区



忍路湾

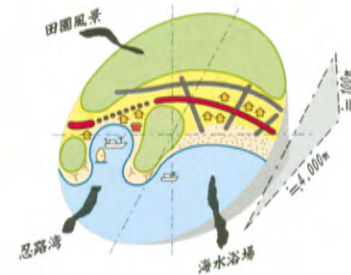


蘭島の田園風景



蘭島海水浴場とボロマイ岬

◆ 地域特性指標 ◆



忍路ストーンマーカー



北へ入る海軍研究所



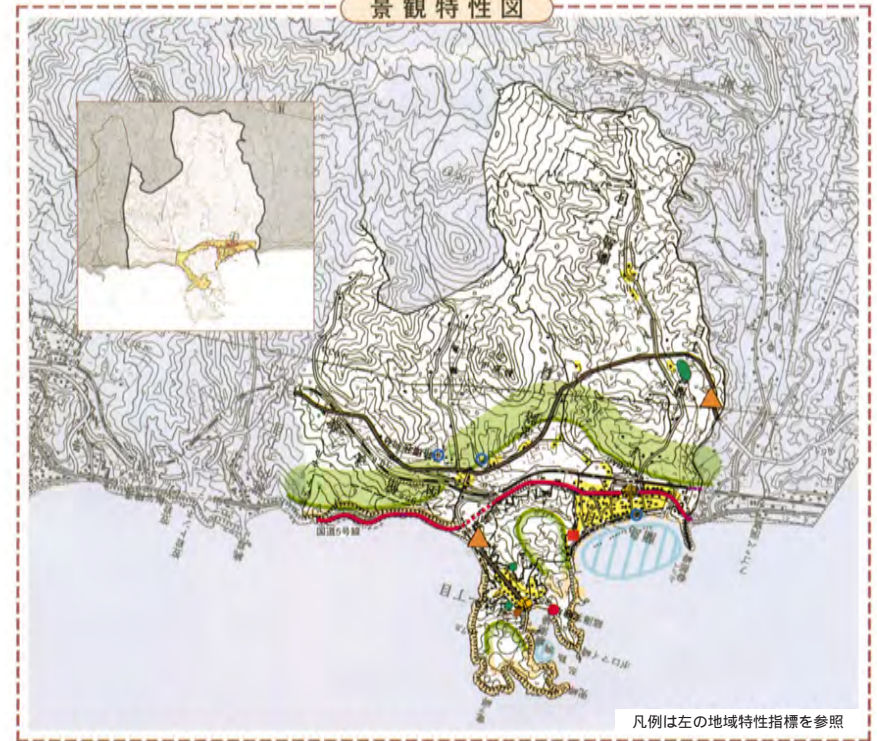
忍路の住居街

地区別デザイン

- ◇ 蘭島海水浴場からJR函館本線までの地区は、海浜レクリエーションゾーンとしての、清潔感漂う、明るいイメージのデザインとする。
- ◇ 忍路地区やJR函館本線より南側の地区は、高彩度の色彩は避け、史跡や田園的な自然景観と調和のとれた落ち着いた雰囲気づくりをする。
- ◇ 広告物については、必要最小限の大きさとし、

過度な発光装置等を有するものや高彩度の色彩は避け、自然景観と調和したデザインなどとする。

景観特性図



蘭島・忍路地区



地区概況

海食崖による勇壮な岬と入江が特徴的な、漁港のある忍路湾と、北海道海水浴場発祥の地で夏場に賑わいを見せる道内有数の海水浴場として知られている。広域農道(塩谷蘭島山手通線)沿いには田園的な自然景観が広がり、また、忍路環状列石などの史跡があり、多くの埋蔵文化財が発掘され、古代の歴史を感じられる地区でもある。

※古写真（明治後期）と古地図は市立小樽図書館所蔵

